東日本ユニオンにいがた

http://niigatachihon.yukigesho.com/

JR東日本労働組合新潟地方本部
２０２１年３月１０日発行
第１０号（通巻第１７７号）
発行者：星山 圭　編集者：教育・広報部

「組織力」を強化し東日本ユニオンをさらに強化・拡大しよう！

JR東日本労働組合新潟地方本部
第７回定期地方委員会

新潟地方本部は２月２７日、新潟市万代市民会館において第７回定期地方委員会を開催しました。

地方委員と地本役員のみの招集として、会場入り口での検温・手指の消毒実施や飛沫防止のアクリル板の設置、会場内の適宜換気や使用の都度マイクを消毒するなど、新型コロナウイルスへの感染拡大防止に努めた中で開催しました。

赤字下・コロナ禍の中だからこそ労働組合の役割を考え行動しよう

新潟地方本部 星山執行委員長あいさつ

大会以降、12月に営業職場で東日本ユニオンに加入して頂いた。新たな加入は私たちにとって大きな力になった。

記録的な大雪の中での奮闘に感謝申し上げる。今冬は通勤時の傷害も発生した。上越地方では家から出られない、車が出せないなど命に関わる状況だったが、当初そこまでは掴めていなかった。このような中で労働組合とはいかにあるべきかを議論し、災害救助法発令地域の居住者の把握や連絡体制を構築した。

通勤困難者に障害休暇・り災休暇を適用しない会社の対応や、口頭で社員に事実上の自宅待機をさせた設備職場での事象に対する団体交渉では、私たち社員自身が瞬間的に職場でルールを守らせる必要性も感覚した。組合員の立場に立つことを常に課題とし行動していく。

新型コロナウイルスについて、1年前にここまでの未来は想像できなかった。まだしばらく続くと思うが、油断せずに日々の組合活動においても感染予防に取り組もう。問題については申し入れも含めて解決していく。組合員、家族を守るために知恵を出し合っていこう。

温泉旅館での現場長会議を巡り赤字下における企業活動について団体交渉を行った。必要な会議だったと主張する支社側に対し、社員との意識の乖離を指摘したが、労働組合がチェックする必要を強く感じた事態だった。

２０２１春闘は赤字下、コロナ禍の中での春闘となる。会社施策は社員の理解なく見切り発車で進んでいる。会社は人件費のみにスポットを当てるが、年末手当では再申し入れまでたたかいを作り上げてきたことで職場の雰囲気を変えてきた。

労働組合に所属しているからこそ賃金引き上げを取り組める。東日本ユニオンがなぜこのような要求をしたのか、なぜ３本柱を取り組むのか、組合員１人ひとりが堂々と語れることを目指そう。

赤字下、コロナ禍の中だからこそ労働組合の役割とは何か考え、行動しよう。東日本ユニオンにならって良かったという組織を作ろう。

賃上げは社員一律で！定期昇給には手を付けさせない！

来賓として、中央本部の生田書記長にご挨拶をいただきました。

◇　◇

２０２１春闘は、３月１日に第１回目の交渉を迎える。交渉にあたっては「会社の支払い体力」「世間動向」「労使の力関係」の３つの要素がある。

世間動向として、交通運輸産業は大きな打撃を受けている。ＪＲ東日本も赤字決算となり、通期業績予想や変革２０２７の数値目標も下方修正した。経営側は、２０２１年は絶対に黒字化すると明言している。コスト構造の抜本的な改革をすると宣言していることに注視する。

ＪＲ西日本は定期昇給をしない姿勢を示し議論されている。私たちは要求の第１項目に定期昇給４係数の実施を掲げた。定期昇給には手を付けさせない決意で交渉に臨む。賃金引き上げは社員一律に徹底してこだわる。

赤字下の企業活動の点検についても問題意識を持ってチェック、発信をして頂きたい。コロナ下の労働環境の点検行動とあわせ、問題があれば改善に向け地本でも申し入れを行っていただき、ともに春闘をたたかっていこう。

中央本部 生田書記長

生活の安心と安全を勝ち取るため3本の柱を実践しよう

質疑では11名の地方委員から発言を受けました。

「冬期に発生した問題に対する取組み」「賃金引上げのたたかい」「職場環境の改善に向けた取組み」など、いずれも職場からのたたかいに根差した教訓に富んだ内容でした。

提案した議案は、全て満場一致で承認されました。

□ 集約答弁

大会から3ヶ月。大雪、春闘の取り組み、矢継ぎ早の会社提案などに対して正面から向き合い取り組みを作り出して頂いた。

集まることに社会的に制約が課せられる中で、本当に困っている組合員が埋もれることがあってはならない。組合員との意思疎通、対話にこだわろう。

春闘について「赤字下における企業活動などの点検行動」「コロナ禍における労働環境の点検行動と改善する取り組み」があってこその「賃金引き上げを求める取り組み」だ。なぜこの要求なのか自分の言葉で語れるようになろう。

生活の安心と安全を勝ち取るために３本の柱を全組合員で実践しよう。

2021春闘3つの柱を実践し生活の安心と安定を勝ちとろう

◆2021春闘 取り組み3本柱

① 賃金引き上げを求める取り組み
② 赤字下における企業活動などの点検行動
③ コロナ禍における労働環境の点検行動と改善する取り組み

◆2021年度賃金改善等に関する申し入れ

1. 定期昇給を実施すること。昇給係数は4係数とすること。
2. 社員の基本給ならびに初任給を一律3,000円引き上げること。
3. エルダー社員の基本賃金を一律3,000円引き上げること。
4. 第二基本給を廃止すること。
5. 2021年度の賃金改定においては賃金規程第23条の特別加給を行わないこと。